

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日： 令和8年（2026年）2月6日
作成者： （課名） 市民協働推進課
（氏名） 松井 宏展

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	すみれが丘小学校区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 3. 災害に強くみんなで助け合える安心安全のまち
	【具体的な取り組み】 2. 交通安全 2歩道の改善（幅拡大、凹凸是正）
取組内容の関係課	道路管理課

2 対話の状況

(1) 実施概要
ア 日時： 令和8年（2026年）2月5日 18時30分頃から19時45分頃まで イ 場所： ラビスタ宝塚団地 管理センター （宝塚市すみれガ丘1丁目9-3） ウ 出席者： 以下のとおり ● <宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会> （以下、まち協という。） ● <ラ・ビスタ宝塚団地自治会>（以下、自治会という。） ● <市> 協働の取組推進担当次長 浅井 道路管理課道路維持管理担当 阪上課長、石川係長 市民協働推進課 松井係長 ● <社会福祉協議会> 藤巻さん
(2) 確認できたこと
すみれガ丘地域の歩道について、道路管理課発信で宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会（以下「まち協」という）と対話を行った。道路管理課から地域の歩道の現状説明及び今後の提案を行い、地域の意見を聞くことができた。 ア 道路管理課の考え 市が所有する構造物の更新が控えており、インフラ整備も順次していく必要がある。今のインフラをそのまま将来に継続させることは難しい。社会情勢も厳しくなる中で、それでも街が維持できる仕組みを作りたい。まずは身近なところである、歩道の舗装について地域の意見を参考にさせていただきたい。 イ すみれガ丘地域の歩道の現状について ①すみれガ丘地域の歩道は現状弁柄舗装（赤茶色）であり、通常の黒色アスファルト舗装に比べ費用が大きくかかり修繕に時間を要している。 ウ 道路管理課からの提案 ①弁柄舗装の歩道を黒色アスファルトに変更したい。 <変更するメリット> 黒色舗装は耐久性が高いため、長くきれいに使える。 弁柄舗装に比べ、安価にすむため、修繕が短期間で可能。 黒色舗装は再利用出来るが、弁柄舗装は出来ない。環境面でも黒色舗装が良い。 ②一部街路樹の伐採 街路樹の根上がりが舗装をいじめている。 緑の多い地域であり、歩道の一部の街路樹を間引くことにより、舗装の長寿命化、幅員の確保が可能。 →①②ともに、地域で様々な意見が出ることが予想される。まずは市としてどうしたいか、この街の目指す長期ビジョンを提示してほしい。提示するうえで視覚的、数字的にわかる資料で説明してほしい。 エ 今後について 市としてのビジョンを示したうえで、視覚的にわかる資料を作成し地域に説明する。